

至 仏 山



稜線から至仏山

日 時 : 2018年9月28日(夜)～9月29日

メンバー : 福澤 卓三

コースタイム :

9月28日(金) 往復高速バス 池袋サンシャインシティバス乗場(23:00)

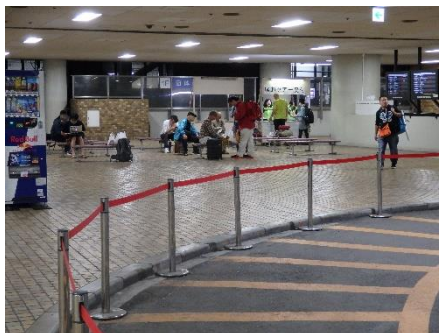
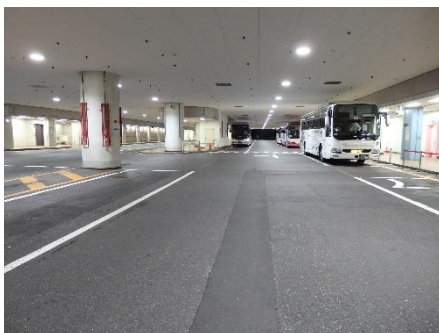
9月29日(土) 鳩待峠駐車場(4:45着)－鳩待峠休憩所(5:10－5:30)－

子至仏山(8:40)－至仏山(10:00－10:20)－小至仏山

(11:20)－笠ヶ岳への分岐(11:50)－鳩待峠(13:30)

鳩待峠駐車場(2:50発)－池袋駅近く(19:00)

9月28日(夜) 台風も来ている、天気予想は29日午後からは雨であるが、雨なら尾瀬でお茶でものんで散策でもするかと出発した。いつもは新宿バスタを利用するのだが、初めて池袋サンシャインシティを利用した。我が家から歩いて行かれるので **GOOD** であるが、池袋駅からくると少し遠い。



池袋サンシャインシティの高速バス乗り場。台数少なく分かりやすい。



鳩待峠休憩場

9月29日(土) 隣の客がキャンセルしたのかバスのシートを広く使用できた。戸倉で小型のバスに乗り換えて、鳩待峠の駐車場でおり、鳩待峠の休憩所まで歩いた。寝不足で少しだるい。雨はまだ降っていないが、予想は昼から雨が降る。計画は山の鼻まで行きそこから至仏山を経て一回りするように下山するのだが、午後からの雨を予想して鳩待峠から直接登り同じ道を下山するようにした。



登り口は休憩所の反対側である。防寒と雨が降ってもいいように雨具を着たが、暑くてすぐぬいだ。平坦に近いような山道から少し急な登山道になる。寝不足とウェットオーバーでつらい。30人くらいの中高年のグループと抜きつ抜かれつしながら、オヤマ沢田代の湿原を越えて笠ヶ岳への分岐に到着。樹林帯をぬけ稜線上の登山道に出ると蛇紋岩が出てきて、すべりやすい。雨は8時ころから小雨になりカッパをまとう。まだ気温が少したかいのか雨でも寒くない。



笠ヶ岳の分岐



子至仏山

本来、至仏山に登るルートは山の鼻まで行き、そこから至仏山を目指すのが、一般的であるが、本日の天気予想で、早めに下山しようと考えているのか鳩待峠から往復する登山者多いような気がする。このルートも蛇紋岩というすべりやすい岩が多くスタンスに気をつかう。フラットにおいてもすべる。普段使わない動きなのか太ももの内側に違和感があり、つっってしまうなと思ったすぐ後に、やはりつってしまった。こんなことが上り下りで3回ほどあった。しばらくすると回復するのだが筋肉のおとろえもあるのだろう。小至仏山につく頃には雨も上がった。子至仏山からはいったん下り、いくつか小高くなったところを越していく。疲れているように見えるのか若者があと少しと元気づけてくれる。どこの山に行っても最後は若者がやさしく声をかけてくれるが、そんな風に見えるのかと複雑である。頂上が見えてからは簡単にピークにたった。



至仏山山頂



至仏山山頂（2228m）

頂上は晴れていれば絶景に違いない。燧岳・尾瀬ヶ原・尾瀬沼や会津駒ヶ岳など素晴らしい景色がみられるが残念である。

帰りはバスの予約が14時50分である。時間を気にしながら下山しなければならないが、それほど急ぐことはない。蛇紋岩に気を付けてくださった。若いころ山岳会の例山行に組まれることがなかった山が沢山ある。これから登るのに楽しみな山が多い。